

男女共同参画社会を考える 6

飯館村男女共同参画プラン&

飯館村エンゼルプラン策定委員紹介

同委員会副委員長の長谷川さよ子さんにお話を伺いました。



▲楽しんで育児をしたいと話す
長谷川さん（写真左）

プラン策定中思ったこと

理想を現実にする難しさを感じました。男女の習慣的役割分担意識を改革していかなければ何も変わらなと強く感じました。子供は親の姿をいつも見ています。だからこそ家庭内で意識改革を始めていく必要があると思いました。

実践していること、
したいこと

私は保育士ですので私たちが子どもを持つ親が安心して働けるように育児をサポートしていきたいと思っています。

子供はとても敏感です。自分自身が楽しんで育児をするそれは自然と子供に伝わります。そんな喜びを夫婦で味わいながら子育てができたらいいなあと思います。

策定委員になった感想
男女共生または少子化についてこれから村にどんなことを求めているか意見を述べて欲しいと言われ、予想もしなかったことだったので驚きましたが、これも何かの縁と引き受けました。まだ社会人として未熟な私にとっては、大役過ぎて荷が重かったです。

何に使うの 教えて 村の予算 第6回 教育費・学校教育について

「村づくりは人づくり」とよく言われます。したがって「教育」あるいは「人づくり」には村の予算の相当額をかけるべきなのですが、道路の整備や福祉の充実、産業振興や村民の所得向上対策など、力を入れなければならない問題は他にもたくさんあり、教育に多くの予算をかけることはどこの市町村でもなかなかできないところです。

そのような中、村では、以前から「子供のことに关しては優先させなければ」という共通認識があり、他の市町村に比べ、常に「教育にかける予算は削らないで」という歴史がありました。幼稚園教育には、県内でもいち早く取り組み、充実させ、小中学校の統合も他市町村より早く、統合校舎が建てられてきたところです。スクールバス・給食も然りです。

各学校にかかる経費も大きな予算になります。年間で幼稚園が約8,000万円、小学校3校に1億1,000万円、中学校に3,800万円、スクールバスに約5,000万円、給食センターに約2,400万円などが予算化されています。さらに、情報化、国際化時代の中、コンピューターの学習をするための機器の借料に約700万円、英語指導助手に約600万円などもあげられます。生活に困っ

ている児童生徒に対しての給食費、学用品の援助として440万円程も予算化しています。

今、各市町村で、または学校で「特色ある教育」をしていく時代になってきています。そのため、各学校の特色ある教育費に90万円、親のありがたみがわかる事業に135万円、命や平和の大切さを知る中学生の修学旅行支援に約200万円、5年ぶりに作る「いいたての副読本」の製本に約160万円など、特色ある教育に貴重な財源をふりむけています。なお、13年度には久しぶりに両幼稚園に遊具を900万円かけ設置しましたが、今年度は草野幼稚園にプールを300万円かけて作り、園児に喜ばれています。

また、来年度は飯樋小学校の校舎改築が予定されていますので、その設計費など2,800万円が今年度予算化されています。来年度には約7億円程で飯小の校舎が新しくなる予定です。

私たちの将来、そして村の未来を築いてくれるのはこれからの子供たちですから、今の自分たちの困ったことばかりに事業を進めず、教育に力を入れていくことも大切ではないでしょうか。詳しいことは、「村の予算書」P69～73を読んでみてください。

(次回は社会教育費予算についてです)